

令和5年度 授業計画書(シラバス)

科目名	人文科学概論(コミュニケーションを含む)	
課程	あん摩マッサージ指圧、はり、きゅう科 専門課程	
対象クラス	2年A組	
担当教官名	吉川 三恵子	
修得単位数	2単位	
年間授業時数	30時間	
授業の方法	講義	
科目の概要 (授業科目の内容)	医療面接の基本的技術について学びます。文学作品に親しみ、他者への共感を育むことについて学習します。	
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 日常の言語活動(聞く・話す)を通して、コミュニケーション能力の向上を図れる。</li> <li>2 文学への関心を寄せ、医療者としての感性豊かな自己形成を図れる。</li> </ol>	
授業計画	前期計(15週)	前期計15時間
	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 オリエンテーション・R5年度各人の抱負</li> <li>2 コミュニケーション演習</li> <li>3 患者への説明と教育：説明の実践</li> <li>4 患者への説明と教育：教育の実践</li> <li>5 患者の特性に応じた医療面接：性に応じた関わり</li> <li>6 患者の特性に応じた医療面接：世代に応じた関わり</li> <li>7 患者の特性に応じた医療面接：身体の不自由な患者への関わり</li> <li>8 患者の特性に応じた医療面接：対応に工夫を要する医療面接</li> <li>9 医療面接とは：医療面接と問診の違い</li> <li>10 医療面接とは：医療面接の役割</li> <li>11 鍼灸治療における医療面接の実際 1</li> <li>12 鍼灸治療における医療面接の実際 2</li> <li>13 文学に触れる「金子みすゞ」他「赤い鳥運動」の詩人 1</li> <li>14 文学に触れる「金子みすゞ」他「赤い鳥運動」の詩人 2</li> <li>15 学習のまとめ</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1</li> <li>1</li> <li>1</li> <li>1</li> <li>1</li> <li>1</li> <li>1</li> <li>1</li> <li>1</li> <li>1</li> <li>1</li> <li>1</li> <li>1</li> <li>1</li> <li>1</li> </ol>
授業計画	後期計(15週)	後期計15時間
	<ol style="list-style-type: none"> <li>16 鍼灸治療における医療面接の実際 3</li> <li>17 鍼灸治療における医療面接の実際 4</li> <li>18 面接に必要な態度と技法 1</li> <li>19 面接に必要な態度と技法 2</li> <li>20 グループで学ぶ 1</li> <li>21 グループで学ぶ 2</li> <li>22 ロールプレイ</li> <li>23 文学に触れる「高瀬舟」</li> <li>24 学習のまとめ</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1</li> <li>1</li> <li>1</li> <li>1</li> <li>1</li> <li>1</li> <li>4</li> <li>4</li> <li>1</li> </ol>
実務経験の有無 その活かし方	無	
成績評価の方法	筆記試験(前期・後期)と授業で課した課題発表や提出を総合して評価します。	
履修上の留意点	中間試験は実施しません。	
自己学習の進め方	テキスト「医療面接」の内容に沿って重要な部分を取り上げていきますので、試験に向けて振り返り学習を心がけてください。文学に触れる授業では、印象に残った箇所を書き留めておいてください。	
使用教科書	改訂版 鍼灸臨床における医療面接、丹澤章八著、医道の日本社、2022年	
参考書/参考資料	必要に応じて配付します。	

令和5年度 授業計画書(シラバス)

科目名	社会科学概論		
課程	あん摩マッサージ指圧、はり、きゅう科 専門課程		
対象クラス	2年A組		
担当教官名	吉井 顕穂		
修得単位数	2単位		
年間授業時数	30時間		
授業の方法	講義 (PC操作を含む)		
科目の概要 (授業科目の内容)	1 介護保険制度、社会福祉制度について学びます (4~6月)。 2 スクリーンリーダーソフトを組み込んだWindowsパソコンを使用し、エクセル、カルテ名人の操作について学びます (7月~令和6年2月)。		
到達目標	1 社会福祉制度の理念や仕組みを理解し説明できるようになる。 2 Windowsの基本操作を理解し、エクセル、カルテ名人等の応用ソフトの操作ができるようになる。		
授業計画	前期計 (15週)		前期計15時間
	1	雇用保険	2
	2	労災保険	2
	3	公的扶助	2
	4	社会福祉制度	
		(1) 社会福祉とは	1
		(2) 社会福祉の理念	1
		(3) 社会福祉に係わる組織	1
	5	障害者福祉	
		(1) 「障害」とは	1
	(2) 障害者福祉に関する法律・制度	1	
6	情報実習オリエンテーション	0.5	
7	パソコンの基本操作		
	(1) スクリーンリーダーの設定	0.5	
	(2) Windowsの基本操作	1	
8	エクセルの基本操作		
	(1) ブック、シート、セル、行と列の概念、数式と値の入力	1	
	(2) 各種コピーの操作	1	
	後期計 (15週)		後期計15時間
9	初歩的な関数の学習		
	(1) SUM関数、AVERAGE関数	1	
	(2) ROUND関数、関数のネスト	1	
	(3) count、counta、countif関数	1	
	(4) if関数、vlookup関数	2	
10	カルテ名人の操作		
	(1) メニュー画面と基本操作	1	
	(2) カルテの作成から印刷までの流れ	1	
	(3) 再診カルテ課題の入力・登録と印刷	3	
	(4) 初診カルテ課題の入力・登録と印刷	3	
	(5) データの保存、検索	1	
	(6) 「今日の施術者」ファイルの閲覧・操作方法	1	
実務経験の有無 その活かし方	無		
成績評価の方法	理療教育実施細則に基づき、前期期末、後期期末試験 (前期は筆記試験、後期は実技試験) の平均点を学年末評価とします。(小数点第1位は切り捨て)		
履修上の留意点	成績評価は期末一斉試験期間に実施し、中間試験は実施しません。		
自己学習の進め方	1 授業の前にテキストを読んで予習をしておいて下さい。 2 パソコンの学習では実施した課題の復習に取り組み定着を図ってください。 操作手順はできるだけ詳しくテキストに記載していますので熟読してください。		
使用教科書	教官作成のテキスト及び練習問題(墨字・点字・デジ版・データ版)を使用します。		
参考書/参考資料	必要に応じて配布します。		

令和5年度 授業計画書(シラバス)

科目名	自然科学概論	
課程	あん摩マッサージ指圧、はり、きゅう科 専門課程	
対象クラス	2年A組	
担当教官名	桑崎 哲治	
修得単位数	2単位	
年間授業時数	30時間	
授業の方法	講義	
科目の概要 (授業科目の内容)	1 細胞に関する歴史と基本的概念を学びます。 2 原子の構造と化学結合の基本的概念を学びます。	
到達目標	理療教科における学習に必要な自然科学の基礎的な概念、原理、法則等を理解して説明又は記述できる。	
授業計画	前期計 (15週)	前期計15時間
	1 オリエンテーション	0.5
	2 細胞の化学的組成 (1) 元素 (2) 水 (3) 小有機分子 ①糖質、②脂質、③アミノ酸 ④ヌクレオチド・DNA・RNA・ATP	1 1 1 3
	3 細胞の構造と機能 (1) 核 ①核膜 ②核小体 ③染色質、④染色体 (2) 蛋白質の合成 ①転写 ②翻訳 ※ 学習のまとめ ※ 期末試験講評	1 1 3 1 1 1 0.5
	後期計 (15週)	後期計15時間
	4 細胞質の微細構造 (1) ミトコンドリア (2) リボソーム (3) 小胞体 (4) ゴルジ装置 (5) リソソーム (6) 中心体 (7) 微小管 ※ 学習のまとめ ※ 期末試験講評 (8) 細胞骨格	2 1 2 1 2 1 1 1 0.5 1.5
	5 細胞分裂 体細胞分裂	2
実務経験の有無 その活かし方	無	
成績評価の方法	理療教育実施細則24に基づき、各学期末に行われる期末試験(筆記試験)の平均点(小数点第1位は切り捨て)を学年末評価とします。	
履修上の留意点	中間試験は実施しません。	
自己学習の進め方	講義は事前に配布する資料を用いて進めます。必ず資料を読んで、講義内容を把握して講義に臨んでください。講義後は配付資料を精通して復習し、内容理解に努めてください。自己学習しても理解できないところがあれば、次の講義までに質問してください。	
使用教科書	使用しません。章ごとに資料と図を配布します。	
参考書/参考資料	細胞の世界、ベッカー他著、村松正実他監訳、西村書店、2005年	

令和5年度 授業計画書(シラバス)

科目名	保健体育	
課程	あん摩マッサージ指圧、はり、きゅう科 専門課程	
対象クラス	2年A組	
担当教官名	高木 富士男	
修得単位数	1単位	
年間授業時数	30時間	
授業の方法	実技	
科目の概要 (授業科目の内容)	運動・スポーツにかかわる基本的な知識と技術について学びます。また体力測定を通して自身の身体状況を客観的に捉えることについて学びます。	
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 運動・スポーツを生涯にわたって継続していく重要性を理解して、実践することができる。</li> <li>2 運動・スポーツ実践の基となる自身の体力の現状を客観的に把握できる。</li> </ol>	
授業計画	前期計 (15週)	前期計15時間
	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 オリエンテーション</li> <li>2 体力測定 (筋力、柔軟性、敏捷性、筋持久力)</li> <li>3 身体局所の動き (みんなの体操)</li> <li>4 陸上競技 (投擲)</li> <li>5 ゴールボール</li> <li>6 フライングディスク (ディスリート7、ディスタンス)</li> <li>7 グランドソフトボール</li> <li>8 テーピング (セルフ)</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1</li> <li>1</li> <li>2</li> <li>2</li> <li>3</li> <li>2</li> <li>3</li> <li>1</li> </ol>
授業計画	後期計 (15週)	後期計15時間
	<ol style="list-style-type: none"> <li>9 みんなの体操 (座位)</li> <li>10 ブラインドテニス</li> <li>11 フロアバレーボール</li> <li>12 ボッチャ (ペア)</li> <li>13 ストレッチ (動的)</li> <li>14 ブラインドサッカー</li> <li>15 ゲートボール</li> <li>16 トレーニング (理論、実技)</li> <li>17 体力測定 (持久力)</li> <li>18 ニュースポーツ</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1</li> <li>2</li> <li>3</li> <li>2</li> <li>1</li> <li>1</li> <li>1</li> <li>2</li> <li>1</li> <li>1</li> </ol>
実務経験の有無 その活かし方	有   運動指導員 障がい者スポーツセンターでの運動・スポーツ指導経験を活かして、トレーニングやストレッチを紹介し、1年次履修科目に関連する知識の幅を広げます。	
成績評価の方法	理療教育実施細則に基づき、前期期末、後期期末試験 (いずれも実技試験及び口頭試験) の平均点を学年末評価とします。(小数点第1位は切り捨て)	
履修上の留意点	中間試験は実施しません。天候により使用する体育施設を変更する場合があります。	
自己学習の進め方	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 テレビ体操やみんなの体操の放送時刻を把握し、「みんなの体操 (立位・座位)」の動きを学習してください。</li> <li>2 既習の内容については、体育的行事の活用や自己学習を含めて振り返り学習してください。</li> <li>3 事前・事後の学習は欠かさないようにしてください。</li> </ol>	
使用教科書	なし。(必要に応じて資料等を配布します)	
参考書/参考資料	障がいのある人のスポーツ指導教本、日本パラスポーツ協会著、ぎょうせい、2020年 全国障害者スポーツ大会競技規則 (解説付)、日本パラスポーツ協会著、日本パラスポーツ協会、2023年	

令和5年度 授業計画書(シラバス)

科目名	生理学Ⅱ	
課程	あん摩マッサージ指圧、はり、きゅう科 専門課程	
対象クラス	2年A組	
担当教官名	米田 裕和	
修得単位数	3単位	
年間授業時数	90時間	
授業の方法	講義	
科目の概要 (授業科目の内容)	人体の各臓器・組織の生理作用について学びます。	
到達目標	あはき施術に必要な人体の機能と知識の習得ができる。 また、他の科目との関連について理解し、知識を応用できる。	
授業計画	前期計 (15週)	前期計45時間
	1 オリエンテーション／排泄 2 内分泌 3 生殖・成長と老化 ※ 中間試験 ※ 中間試験講評 4 神経 ※ 期末試験 ※ 期末試験講評	6 9 8 1 1 19 1
授業計画	後期計 (15週)	後期計45時間
	4 神経 (続き) 5 筋 ※ 中間試験 ※ 中間試験講評 6 運動 7 感覚 ※ 期末試験 ※ 期末試験講評 7 感覚 (続き) 8 生体の防御 9 身体活動の協調	7 9 1 1 7 4 1 1 8 4 3
実務経験の有無 その活かし方	無	
成績評価の方法	理療教育実施細則に基づき、前期期末、後期期末試験の平均点を学年末評価とします。 (小数点第1位は切り捨て)	
履修上の留意点	6、11月の2回、形成的評価のため中間試験を実施します。	
自己学習の進め方	予習は必要ありません。復習をしっかりと行ってください。その際は、ただ用語等を暗記するだけでなく、生理学的機序をしっかりと理解するようにしてください。	
使用教科書	人体の構造と機能 生理学 第3版、盲学校理療教科用図書編纂委員会、医歯薬出版、2022年	
参考書/参考資料	参考資料は適宜配布します。	

令和5年度 授業計画書(シラバス)

科目名	病理学概論	
課程	あん摩マッサージ指圧、はり、きゅう科 専門課程	
対象クラス	2年A組	
担当教官名	岩本 稔	
修得単位数	2単位	
年間授業時数	60時間	
授業の方法	講義	
科目の概要 (授業科目の内容)	疾病や症状の分類、原因、発生機序等を学びます。	
到達目標	施術者として必要な疾病に関する知識を身に付ける。 疾病の成り立ちを理解し説明できる。 他の科目との関連について理解し、知識を応用できる	
授業計画	前期計 (15週)	前期計30時間
	1 オリエンテーション (授業の進め方、評価方法等)	1
	2 第1編 病理学の意義、基礎	2
	3 第2編 病因 (1) 内因 (2) 外因 (栄養異常、物理的・化学的・生物的病因作用等) ※ 中間試験 1 ※ 中間試験講評 1	10
4 第3編 病変 (1) 循環障害 (充血、うっ血等) (2) 退行性病変 (変性・萎縮・壊死等) ※ 期末試験 1 ※ 期末試験講評 1	14	
後期計 (15週)	後期計30時間	
4 第3編 病変 (続き) (3) 進行性病変 (肥大・再生・移植等) (4) 炎症 (炎症の概念、原因、炎症の経過と転帰等) ※ 中間試験 1 ※ 中間試験講評 1	5 6	
(5) 腫瘍 (腫瘍の意義・形態・構造等) (6) 免疫異常 (免疫の仕組み、免疫応答異常、免疫不全等)	8 6	
5 総復習 ※ 期末試験 2 ※ 期末試験講評 1	2 1	
実務経験の有無 その活かし方	有   あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師 病院、接骨院での実務経験を活かし、実際の臨床でも応用できる疾患のポイントを紹介しします。	
成績評価の方法	理療教育実施細則に基づき、前期期末、後期期末試験 (いずれも筆記試験) の平均点を学年末評価とします。(小数点第1位は切り捨て)	
履修上の留意点	6月、11月の2回、形成的評価のため中間試験を実施します。	
自己学習の進め方	教科書や配布資料を精読し内容の理解に努めてください。また履修済み科目の解剖学や生理学等の内容についても振り返り知識の整理に努め、まとめのノートを作成するように心がけてください。	
使用教科書	疾病の成り立ちと予防Ⅱ (病理学概論) 改訂第7版 オリエンス研究会、岡山ライトハウス、2019年	
参考書/参考資料	必要に応じて配布します。	

令和5年度 授業計画書(シラバス)

科目名	臨床医学総論	
課程	あん摩マッサージ指圧、はり、きゅう科 専門課程	
対象クラス	2年A組	
担当教官名	岩本 稔	
修得単位数	3単位	
年間授業時数	90時間	
授業の方法	講義	
科目の概要 (授業科目の内容)	施術者として必要な西洋医学における診察法(医療面接及び身体診察)、臨床検査法、治療法の概要について学びます。	
到達目標	各種診察法や臨床検査法の意義、治療法の概要を説明できるとともに、得られた身体所見から疑われる疾病(疾患名)について診断推論できる。	
授業計画	前期計(15週)	前期計45時間
	1 診察法 (1) オリエンテーション/ 診察の概要 (2) 問診(医療面接) (3) 視診 (4) 打診 ※ 中間試験 ※ 中間試験講評 (5) 聴診 (6) 触診 (7) 測定法 (8) 生命徴候(バイタルサイン) ※ 期末試験 ※ 期末試験講評	2 4 10 4 1 1 4 10 4 4 1
	後期計(15週)	後期計45時間
	(9) 神経系の診察 (10) 運動機能検査 2 臨床検査法 (1) 一般検査 ※ 中間試験 ※ 中間試験講評 (2) 生化学的検査 (3) 生理学的検査および画像診断の概要 3 治療法 (1) 治療の意義と分類 (2) 薬物療法 (3) 食事療法 (4) 理学療法 (5) その他の療法 4 臨床心理 (1) 患者の心理 (2) カウンセリングの概要 ※ 期末試験 ※ 期末試験講評	6 6 10 1 1 4 4 2 2 2 2 2 1 1 1 1
実務経験の有無 その活かし方	有   あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師 病院、接骨院での実務経験を活かし、実際の臨床でも応用できる疾患のポイントを紹介いたします。	
成績評価の方法	理療教育実施細則に基づき、前期期末、後期期末試験(いずれも筆記試験)の平均点を学年末評価とします。(小数点第1位は切り捨て)	
履修上の留意点	6月、11月の2回、形成的評価のため中間試験を実施します。	
自己学習の進め方	教科書や配布資料を精読し内容の理解に努めてください。また履修済み科目の解剖学や生理学等の内容についても振り返り知識の整理に努め、まとめのノートを作成するように心がけてください。	
使用教科書	生活と疾病Ⅱ 臨床医学総論 第2版、日本理療科教員連盟教科書委員会編、東京点字出版社、2019年	
参考書/参考資料	必要に応じて配布します。	

令和5年度 授業計画書(シラバス)

科目名	理療臨床医学各論(病態生理学を含む)	
課程	あん摩マッサージ指圧、はり、きゅう科 専門課程	
対象クラス	2年A組	
担当教官名	石川 健	
修得単位数	3単位	
年間授業時数	90時間	
授業の方法	講義	
科目の概要 (授業科目の内容)	各疾患の概念、病態生理、原因、症状、検査、治療、予後について学習します。	
到達目標	各疾患の主な特徴を理解し、概念や原因、症状、検査、治療法等について簡潔に説明できる。	
授業計画	前期計(15週)	前期計45時間
	1 オリエンテーション 2 運動器疾患 (1) 関節疾患 (2) 骨代謝性疾患 (3) 骨腫瘍 (4) 筋・腱疾患 (5) 形態異常 (6) 脊椎疾患 (7) 外傷 (8) スポーツ外傷・障害 (9) その他の整形外科疾患 ※ 中間試験	1 43          1
	後期計(15週)	後期計45時間
	3 神経・筋疾患 (1) 脳血管疾患、(2) 感染性疾患、(3) 脳・脊髄腫瘍、 (4) 基底核変性疾患、(5) その他の神経変性疾患、 (6) 認知症、(7) 筋疾患、(8) 運動ニューロン疾患、 (9) 末梢神経障害(ニューロパチー)、(10) 神経痛 (11) 機能的疾患 4 精神・心身医学的疾患 (1) 心身症、(2) 神経症性障害、(3) 気分症(気分障害) (4) 統合失調症、(5) 摂食障害、(6) 物質使用障害 (7) 睡眠覚醒障害、(8) 排泄症、(9) 自閉スペクトラム症 5 救急医学 (1) ショック、(2) 急性腹症 6 麻酔科学 (1) 全身麻酔、(2) 局所麻酔、(3) ペインクリニック ※ 中間試験	28          10  3 3 1
実務経験の有無 その活かし方	有   あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師 鍼灸整骨院での実務経験を活かし、特に遭遇することの多い疾患については経験談を交えながら重点的に解説します。	
成績評価の方法	理療教育実施細則に基づき、前期・後期期末試験(いずれも筆記試験)の平均点を学年末評価とします。(小数点第1位は切り捨て)	
履修上の留意点	1 各疾患の概念、病態生理、原因、症状、検査、治療、予後については、国家試験の出題頻度の高い疾患や主に理療臨床で遭遇することの多い疾患等に重点を置きながら解説します。 2 適宜、解剖学や生理学、臨床医学総論等の関連科目に留意しながら指導を行います。 3 6月と11月に形成的評価のため中間試験を行います。	
自己学習の進め方	解剖学や生理学といった人体の構造と機能に関する知識については、教科書等を用いて逐次復習し、授業で学習した知識のベースアップに努めてください。	
使用教科書	生活と疾病Ⅲ(臨床医学各論)上巻・下巻第5版、日本理療科教員連盟理療科用図書編纂委員会、日本ライトハウス、2022年	
参考書/参考資料	必要に応じて資料を配布します。	



令和5年度 授業計画書(シラバス)

科目名	東洋医学概論Ⅱ	
課程	あん摩マッサージ指圧、はり、きゅう科 専門課程	
対象クラス	2年A組	
担当教官名	絹見 昭洋	
修得単位数	3単位	
年間授業時数	90時間	
授業の方法	講義	
科目の概要 (授業科目の内容)	はり師・きゅう師として必要な東洋医学の概念、病証論、診断法、東洋医学的治療について学びます。	
到達目標	東洋医学の基礎理論、病証論、診断法について理解し、東洋医学的治療について説明又は記述でき、更に治療に応用できる。	
授業計画	前期計 (15週)	前期計45時間
	1 オリエンテーション	1
	2 東洋医学の基礎理論 (1) 東洋医学の意義と特徴 (2) 陰陽五行	14
	3 東洋医学の生理観 (1) 五臓六腑 (2) 気血津液	16
4 経絡と経穴の概要	2	
5 東洋医学の疾病観・病因論 (1) 病因 (三因・三毒説) (2) 八綱病証 (3) 気血津液病証	10	
※ 中間試験・講評	2	
後期計 (15週)	後期計45時間	
5 東洋医学の疾病観・病因論 (続き) (4) 臓腑病証 (5) 経絡病証 (6) 六経病証	12	
6 診断法 (1) 四診 (2) 証決定	18	
7 治療 (1) 手技療法 (2) はりきゅう療法 (補瀉・選穴・刺法)	13	
※ 中間試験・講評	2	
実務経験の有無 その活かし方	有   あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師 臨床で経験した所見・病態などを東洋医学的観点で紹介及び説明します。	
成績評価の方法	理療教育実施細則に基づき、前期期末、後期期末試験 (いずれも筆記試験) の平均点を学年末評価とします。(小数点第1位は切り捨て)	
履修上の留意点	6月、11月の2回、形成的評価のため中間試験を実施します。	
自己学習の進め方	東洋医学概論は3年次で学習する東洋医学臨床論や臨床実習の治療に必要な基礎的知識として重要となります。難解な言葉や漢字については事前に読みを調べるにより学習がスムーズに進みます。授業が終わったら必ずその内容を復習してください。東洋医学は自然界と人体の関わりを学習する科目です。普段から体調と気象気候の関わりを観察することなどが大切です。疑問はそのままにせず質問するようにしてください。	
使用教科書	基礎理療学Ⅰ (東洋医学概論) 改訂第7版、オリエンス研究会、岡山ライトハウス、2021年	
参考書/参考資料	必要に応じて資料を配布します。	

令和5年度 授業計画書(シラバス)

科目名	経絡経穴概論Ⅱ	
課程	あん摩マッサージ指圧、はり、きゅう科 専門課程	
対象クラス	2年A組	
担当教官名	松本 元司	
修得単位数	2単位	
年間授業時数	60時間	
授業の方法	講義	
科目の概要 (授業科目の内容)	人体にある経穴の名称・部位、経絡流注(正経十四経、奇脈)、特定穴(五行穴、五腧穴・八会穴・四総穴・八脈交会穴) その他の穴位(気穴・古典配穴法)、体表解剖(各領域に属する経穴) について学びます。	
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 経絡の分類、十二経脈の流注の方向と接続部位の説明ができる。</li> <li>2 体表解剖の標識線の理解と6関節にある基準経穴を取穴できる。</li> <li>3 骨度法、手指同身寸を理解・運用して取穴ができる。</li> <li>4 特定穴を理解し症状に応じた選別ができる。</li> <li>5 筋肉、神経、動脈拍動部に相関する経穴を説明できる。</li> </ol>	
授業計画	前期計(15週)	前期計30時間
	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 オリエンテーション</li> <li>2 奇経八脈 (1) 衝脈、(2) 帯脈、(3) 陽蹻脈、(4) 陰蹻脈、 (5) 陽維脈、(6) 陰維脈</li> <li>3 奇穴 (1) 頭頸部、(2) 胸腹部、(3) 背腰部、 (4) 上肢部、(5) 下肢部</li> <li>4 よく使われる経穴の組み合わせ (1) 六つ灸、(2) 小児斜差の灸、(3) 中風七穴、 (4) 脚気八処の穴</li> <li>5 経絡・経穴の現代的な研究</li> <li>6 要穴 (1) 原穴・郄穴・腧穴(背部腧穴)、(2) 四総穴、 (3) 八脈交会穴、(4) 八会穴、(5) 下合穴</li> <li>7 奇脈(督脈・任脈)の走行・流注の概要、所属経穴の取穴法 (1) 督脈、(2) 任脈</li> </ol> ※ 中間試験・期末試験の答案返却と解説	<ol style="list-style-type: none"> <li>1</li> <li>5</li> <li>7</li> <li>3</li> <li>2</li> <li>4</li> <li>5</li> <li>3</li> </ol>
	後期計(15週)	後期計30時間
	<ol style="list-style-type: none"> <li>8 十二経脈の走行・流注の概要、所属経穴の取穴法 (1) 手の太陰肺経、(2) 手の陽明大腸経 (3) 足の陽明胃経、(4) 足の太陰脾経 (5) 手の少陰心経、(6) 手の太陽小腸経 (7) 足の太陽膀胱経、(8) 足の少陰腎経 (9) 手の厥陰心包経、(10) 手の少陽三焦経 (11) 足の少陽胆経、(12) 足の厥陰肝経</li> <li>9 体表解剖(筋肉・神経・動脈拍動部)と相関する経穴</li> <li>10 要穴の整理(復習)</li> </ol> ※ 中間試験・期末試験の答案返却と解説	<ol style="list-style-type: none"> <li>17</li> <li>5</li> <li>5</li> <li>3</li> </ol>
実務経験の有無 その活かし方	無	
成績評価の方法	理療教育実施細則に基づき、前期期末と後期期末に筆記試験を行い、その平均点で評価します。	
履修上の留意点	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 6月、11月に形成的評価のため筆記試験を行います。</li> <li>2 模型や身体を使い、わかりやすい授業になるよう工夫します。</li> </ol>	
自己学習の進め方	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 予習は、漢字の読み方や経穴部位の確認などを重点に行ってください。</li> <li>2 復習は、習ったところをノートにまとめ、経穴部位の確認を行ってください。</li> </ol>	
使用教科書	新版経絡経穴概論、日本理療科教員連盟・東洋療法学校協会編、医道の日本社、2018年	
参考書/参考資料	WHO/WPRO標準経穴部位、WHO西太平洋地域事務局、医道の日本社、2009年 必要に応じて配布します。	

令和5年度 授業計画書(シラバス)

科目名	あん摩マッサージ指圧応用実習Ⅰ(臨床実習前試験等を含む)	
課程	あん摩マッサージ指圧、はり、きゅう科 専門課程	
対象クラス	2年A組	
担当教官名	石川 健	
修得単位数	4単位	
年間授業時数	120時間	
授業の方法	実技	
科目の概要 (授業科目の内容)	1年次に習得した基礎的な技術をさらに習熟させるとともに、疾患別に応じた問診・診察・治療法など、施術者として必要な応用的な施術に関する内容について学びます。	
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 医療面接及び身体診察ができる。</li> <li>2 所定の時間内で主訴に応じたあん摩の全身施術ができる。</li> <li>3 物療機器が安全に取り扱える。</li> <li>4 あま指施術に関わる衛生管理及びリスク管理ができる。</li> </ol>	
授業計画	前期計(15週)	前期計60時間
	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 オリエンテーション、1年次の復習</li> <li>2 部位別の施術                             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 肩背部</li> <li>(2) 上肢</li> <li>(3) 頭頸部</li> <li>(4) 腰殿部</li> <li>(5) 下肢</li> </ol> </li> <li>3 肢位別の施術                             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 側臥位</li> <li>(2) 伏臥位</li> <li>(3) 仰臥位</li> </ol> </li> </ol> ※ 2と3は同時に行います。 ※ 中間試験(臨床実習前試験等を含む) ※ 期末試験(臨床実習前試験等を含む)	4 52 4
	後期計(15週)	後期計60時間
	<ol style="list-style-type: none"> <li>4 疾患別の施術                             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 運動器系                                     <ol style="list-style-type: none"> <li>① 肩こり、頸肩腕症候群、② 腰下肢痛、</li> <li>③ 肩関節周囲炎、④ 変形性関節症(膝関節症、股関節症)、</li> <li>⑤ 腱鞘炎、⑥ 捻挫の後遺症</li> </ol> </li> </ol>                             ※ 授業の進行状況により、前期で上記の疾患を扱う場合があります。                         </li> <li>5 スポーツ障害に対する総合施術                             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) アキレス腱断裂、(2) ジャンパー膝、(3) テニス肘</li> </ol> </li> <li>6 各種物療器具の取り扱い</li> <li>7 模擬臨床実習</li> </ol> ※ 中間試験(臨床実習前試験等を含む) ※ 期末試験(臨床実習前試験等を含む)	42 8 2 4 4
実務経験の有無 その活かし方	有 あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師 鍼灸整骨院での実務経験を活かし、特に施術所現場で遭遇数事の多い症例について具体的に紹介することにより、診察法や治療法に関する知識や技能が向上できるようにします。	
成績評価の方法	理療教育実施細則に基づき、前期期末、後期期末試験(いずれも実技試験)の平均点を学年末評価とします。(小数点第1位は切り捨て)	
履修上の留意点	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 1年次の基礎実習で学習した身だしなみ、衛生管理を徹底するとともに、常に対患者を想定して接遇マナーを意識し適切な態度で診察や施術をするよう心がけてください。</li> <li>2 各学期の中間試験、期末試験を臨床実習前試験として実施します。</li> </ol>	
自己学習の進め方	できるだけ早いうちに60分程度で施術できる自分自身の術式を完成させて下さい。また普段から授業以外の場面でも術式のスタイルをイメージしておくことは大切です。同様に医療面接や身体診察に関しても授業の内容を基本に、教科書等を確認して自分自身の方法・手順(ルーチン)を確立するように心がけてください。	
使用教科書	理療基礎実習第2版、東京都立文京盲学校理療科研究会著、日本ライトハウス、2019年	
参考書/参考資料	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 保健基礎理療実習Ⅱ(保健理療理論)改訂版、東京都立文教盲学校理療科研究会著、日本ライトハウス、2014年</li> <li>2 理療臨床学(あはき師用東洋医学臨床論)2版、オリエン研究会著、岡山ライトハウス、2023年</li> </ol>	

令和5年度 授業計画書(シラバス)

科目名	はりきゅう応用実習Ⅰ（臨床実習前試験等を含む）		
課程	あん摩マッサージ指圧、はり、きゅう科 専門課程		
対象クラス	2年A組		
担当教官名	米田 裕和		
修得単位数	4単位		
年間授業時数	120時間		
授業の方法	実技		
科目の概要 (授業科目の内容)	施術者として必要な施術に関する知識と技術を学習するとともに、施術を適切かつ効果的に行う能力と態度を身につけます。		
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 医療面接及び身体診察（現代医学的診察を中心に）ができる。</li> <li>2 病態に応じた選穴・配穴・取穴ができる。</li> <li>3 一定の時間内に症状に応じた鍼灸施術（鍼灸術を中心に）ができる。</li> <li>4 鍼灸施術に関わる衛生管理及びリスク管理ができる。</li> </ol>		
授業計画	前期計（15週）	前期計60時間	
	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 オリエンテーション、基礎技術の確認</li> <li>2 臨床入門</li> <li>3 各種鍼療法の指導 （1）小児鍼法、（2）皮内鍼法（円皮鍼）</li> <li>4 症候別施術応用（日常遭遇しやすい症候への施術） 運動器系 （1）肩こり頸肩腕症候群、（2）腰痛（坐骨神経痛を含む） （3）五十肩、（4）変形性関節症（膝関節症、股関節症）</li> </ol>	4 16 6 30	
	※ 中間試験（臨床実習前試験等を含む） ※ 期末試験（臨床実習前試験等を含む）	4	
	後期計（15週）	後期計60時間	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>4 症候別施術応用（日常遭遇しやすい症候への施術）（続き） （5）腱鞘炎、（6）捻挫の後遺症、 （7）スポーツ障害に対する総合施術</li> <li>5 各疾患に対する特殊鍼法 （1）頸肩腕部疾患、頸部交感神経幹近傍刺鍼 （2）坐骨神経痛、坐骨神経刺鍼</li> <li>6 はり、きゅう施術に応用できる物理療法 （1）温熱療法、（2）光線療法、（3）電気療法、 （4）灸頭鍼、（5）その他</li> <li>7 模擬臨床実習 臨床前試験等により患者に対して施術を行うに足る総合的知識及び基本的技能・態度を備えていることが確認できた場合、2月中下旬を目処に模擬臨床実習を実施する。</li> </ol>	30 14 10	
	※ 中間試験（臨床実習前試験等を含む） ※ 期末試験（臨床実習前試験等を含む）	4	
	実務経験の有無 その活かし方	無	
	成績評価の方法	前期期末、後期期末に各々1回、2時間ずつ計2回試験を行い、理療教育実施細則に基づき学年末評価を算出して成績評価とする。なお、中間試験は形成的評価として実施する。	
履修上の留意点	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 実技技能を身につける科目のため、健康管理は普段から心がけましょう。</li> <li>2 普段から身だしなみを整え、白衣等の清潔保持を心がけましょう。</li> <li>3 実習中は、鍼刺し事故等の過誤が生じないように、充分留意してください。</li> <li>4 実習中は、教官の指示以外のことは行わないでください。</li> <li>5 年間を通して、応用的施術法だけでなく、臨床実習に向けた一連の流れを身につけることを心がけましょう。</li> <li>6 各学期の中間試験、期末試験を臨床実習前試験として実施します。</li> <li>7 臨床実習参加に著しい課題があると実技担当者が判断した場合、必要に応じて他の理療科教官も評価に加わることがあります。</li> </ol>		
自己学習の進め方	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 この実習には、解剖学、臨床医学総論、理療臨床医学各論、経絡経穴概論の内容も含まれるため、事前に関連科目の内容を確認して下さい。特に診察に関連する解剖学的構造や疾患の概念、症状、徒手検査法の目的及び手順、経穴の取穴法について、予習をして実習に臨んでください。</li> <li>2 この実技科目は繰り返し練習することが大切です。授業時間外に少なくとも週2回、各1時間程度のトレーニングをすることが望ましいです。その際は授業中に説明した注意事項を必ず守ってください。</li> </ol>		
使用教科書	理療基礎実習第2版、東京都立文京盲学校理療科研究会著、日本ライトハウス、2019年		
参考書/参考資料	必要に応じて資料等を配布します。		

令和5年度 授業計画書(シラバス)

科目名	あん摩マッサージ指圧応用実習Ⅱ（臨床実習前試験等を含む）	
課程	あん摩マッサージ指圧、はり、きゅう科 専門課程	
対象クラス	2年A組	
担当教官名	青柳 達也	
修得単位数	2単位	
年間授業時数	60時間	
授業の方法	実技	
科目の概要 (授業科目の内容)	施術者としての心得・内科的症状に対する診察法や施術法・リスク管理・衛生管理などについて学習します。	
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 医療面接及び身体診察ができる。</li> <li>2 内科的症状に応じて、あん摩指施術の手技を選択し全身施術ができる。</li> <li>3 あん摩指施術に関わる衛生管理及びリスク管理ができる。</li> </ol>	
授業計画	前期計（15週）	前期計30時間
	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 オリエンテーション</li> <li>2 医療面接</li> <li>3 咳嗽・気管支喘息</li> <li>4 循環器系（高血圧・うっ血・虚血）</li> <li>5 消化器系（慢性胃炎・便秘・下痢）</li> </ol> ※ 中間試験（臨床実習前試験等を含む） ※ 期末試験（臨床実習前試験等を含む）	<ol style="list-style-type: none"> <li>1</li> <li>4</li> <li>5</li> <li>6</li> <li>8</li> </ol> 6
授業計画	後期計（15週）	後期計30時間
	<ol style="list-style-type: none"> <li>6 婦人科系（月経異常・更年期障害）</li> <li>7 頭痛・眼精疲労</li> <li>8 神経痛（三叉神経痛・肋間神経痛）</li> <li>9 模擬臨床に向けての全身施術</li> <li>10 模擬臨床実習</li> </ol> ※ 中間試験（臨床実習前試験等を含む） ※ 期末試験（臨床実習前試験等を含む）	<ol style="list-style-type: none"> <li>4</li> <li>6</li> <li>4</li> <li>6</li> <li>4</li> </ol> 6
実務経験の有無 その活かし方	無	
成績評価の方法	理療教育実施細則に基づき、前期期末試験・後期期末試験の平均点（小数点第1位切り下げ）を学年末評価とします。学年末評価が60点以上で単位修得となります。授業での衛生管理・態度なども評価の対象となります。	
履修上の留意点	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 各学期の中間試験、期末試験を臨床実習前試験として実施します。</li> <li>2 いかなる理由があっても15分以上遅れれば、欠席となります。</li> <li>3 授業用の資料（墨字・点字・データ）は事前に配布します。</li> <li>4 再評価は行いません。</li> </ol>	
自己学習の進め方	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 事前に資料は精読しておいてください。</li> <li>2 わからない点があればそのままにせず、教官に質問する等してください。</li> </ol>	
使用教科書	理療基礎実習第2版、東京都立文京盲学校理療科研究会著、日本ライトハウス、2019年	
参考書/参考資料	あん摩指応用Ⅱ資料(教官自作資料)	

令和5年度 授業計画書(シラバス)

科目名	はりきゅう応用実習Ⅱ (臨床実習前試験等を含む)	
課程	あん摩マッサージ指圧、はり、きゅう科 専門課程	
対象クラス	2年A組	
担当教官名	松本 元司	
修得単位数	2単位	
年間授業時数	60時間	
授業の方法	実技	
科目の概要 (授業科目の内容)	主要症候に対する鍼灸療法を現代医学的な考え方を基礎に東洋医学的思考方を加えてそれに応じた知識と技能について学びます。あわせて、臨床実習に向けて施術者として必要な心構えを身に付けられるよう学びます。	
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 医療面接及び身体診察（東洋医学的診察を中心に）ができる。</li> <li>2 症状に応じた選穴・配穴・取穴ができる。</li> <li>3 一定の時間内に症状に応じた鍼灸施術（灸施術を中心に）ができる。</li> <li>4 鍼灸施術に関わる衛生管理及びリスク管理ができる。</li> </ol>	
授業計画	前期計 (15週)	前期計30時間
	1 オリエンテーション	1
	2 基礎的な刺鍼手技と灸手技	10
	3 特殊な鍼 皮内鍼、円皮針、鍔鍼法	5
4 主要症状・疾患別治療法	8	
(1) 頭痛・眼精疲労		
(2) 咳嗽・喘息		
(3) 胸痛・腹痛		
※ 中間試験 (臨床実習前試験等を含む)	6	
※ 期末試験 (臨床実習前試験等を含む)		
後期計 (15週)	後期計30時間	
4 主要症状・疾患別治療法	12	
(4) 悪心と嘔吐		
(5) 食慾不振		
(6) 便秘と下痢		
(7) 高血圧症と低血圧症		
(8) のぼせと冷え症		
(9) 疲労と倦怠		
5 老年医学における鍼灸療法	3	
6 スポーツ医学における鍼灸療法	3	
7 模擬臨床 (前トレーニングを含む)	6	
※ 中間試験 (臨床実習前試験等を含む)	6	
※ 期末試験 (臨床実習前試験等を含む)		
実務経験の有無 その活かし方	無	
成績評価の方法	平常授業時は観察記録法により評価します。各学期期末には実技試験を行い、平常評価と合わせて総括的評価とします。なお、理療教育実施細則に基づき、前期・後期期末試験の平均点を本科目の学年末評価とします。臨床実習前施術実技試験については、平常評価と各学期の中間及び期末の実技試験の平均点で評価し、臨床実習参加の可否を判定します。	
履修上の留意点	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 自身の健康管理に留意するとともに、身体や白衣を清潔に保ちましょう。</li> <li>2 「鍼灸療法は安全かつ有効であるか」を意識し、有害事象を起こさないように集中して取り組みましょう。</li> <li>3 各学期の中間試験・期末試験を、臨床実習前試験として実施します。</li> <li>4 臨床実習に向けて、はき応用Ⅰと連携して授業を進行していきます。</li> </ol>	
自己学習の進め方	鍼灸師になるための心構えを常に意識してしてください。授業中のみでなく実習を行うときは有害事象とくに怪我や火災を起こさないよう留意してください。火気の使用は実習室以外で避けるようにしてください。授業時間以外の事故については自己責任になります。※「理療教育における施設や設備の利用等マニュアル (利用者向け)」第8章 授業時間以外に実技練習を行うときの注意事項参照	
使用教科書	理療基礎実習 第2版、東京都立文京盲学校理療科研究会著、日本ライトハウス、2019年	
参考書/参考資料	東洋医学臨床論 (はりきゅう編)、東洋療法学校協会編、医道の日本社、2022年 資料は必要に応じて配布します。	